

大きくなあれ！

ひのっこ保育所稚アユの放流



稚アユをやさしく放流する園児たち

4月20日、黒坂カワコふれあい公園で稚アユの放流が行われ、ひのっこ保育所の年長児15人が参加しました。

子どもたちはバケツの中で元気よく跳ねる稚アユに歓声をあげながら「大きくなあれ、大きくなあれ」と、声をかけながら放流。元気に上流に上っていく稚アユを見送りました。今回放流された稚アユは5千匹。主催した町水産振興連合会会長の生田正明さんは「ふるさとの魚、アユに親しんでもらおうと企画しています。今年は大きく成長していきますので、1カ月早く放流しました。釣果も期待できるのでは」と話しました。

みんな元気で長寿を祝う

安井栄寿会総会で長寿の祝い



今年も楽しく活動することを誓い合いました

4月20日、津地・安原の老人クラブ、安井栄寿会（瀬田精豪会長、会員22人）の総会がリバーサイドひので開かれました。

総会では、地元の神社の清掃活動や介護予防教室の開催など、事業内容が話し合われたほか、今年、白寿を迎える99歳の山田芳美さん（津地）、米寿を迎える88歳の瀬田豊子さん（安原）を囲み、会員で長寿を祝いました。

会長の瀬田さんは「白寿と米寿を迎えた2人は活動に参加されるほど元気。平均年齢84・9歳と高齢ですが、集まってお茶を飲むように計画して頑張っています」と笑顔で話しました。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72-0332）

元気に育ってほしい

根雨小学校で田植え



横の人と合わせて一生懸命苗を植える

青空の下、学校田のあちらこちらで歓声があがります。毎年恒例となっている根雨小学校（唐来秀夫校長）の田植えが、5月8日、グラウンド横の学校田で行われ、全児童が参加しました。

好天の中、25年続く伝統行事を見ようと多くの保護者や地域住民が集まり、ぬかるむ田んぼの中で悪戦苦闘する子どもたちに声援を送ったり、カメラで撮影を行っていました。

また、今年から日野高校と交流。大田秀明教頭は「日野高校とは、これまでも金管バ



児童と日野高校生はすぐに打ち解け田植えを楽しむ

ンドを指導いただくなど交流していただきました。田植えで交流しようという話が進み、今日は16人の生徒に参加いただきにぎやかです。子どもたちも大変喜んでいきます」と目を細めまわっています。参加したのは農業を専攻している2年生16人。児童の間に入り、田植えを楽しんでいました。

植えたのは「ヒメノモチ」で、収穫後は、児童、保護者が参加し、もちつき大会が開かれます。

あなたの資格を生かしてみませんか

看護師を募集しています

日野病院では、看護師、准看護師を募集しています。

あなたの資格を生かすために、さまざまな支援制度を整えていますので、気軽に問い合わせください。

※左は、当病院の職員がデザインしたポスターです。

あなたにあった場所が
キツとある！

～看護師募集～

日野病院は
あなたを
待っています

お問合せ先 日野病院総務課 TEL 0859-72-0351

【問合せ】

日野病院組合 日野病院 (電話 72-0351)

担当 看護局 小村
総務課 頭本

まちの文化財・史跡を歩く 其ノ八

■町歴史民俗資料館 (根雨) 再オープン

施設の修繕工事のため、昨年9月から休館していた、町歴史民俗資料館 (旧根雨公会堂) を、4月29日から再開しました。

資料館には、町内の皆さんから提供いただいた民具や古文書など、1000点以上の歴史資料を所蔵しており、そのうちの一部を公開しています。展示品の配置も見やすく変更しました。

再開当日と5月の連休には、町内外から延べ約70人が来館。

町内在住の女性は「展示室も明るくなっていて良かったが、何より根雨公会堂の建物自体が懐かしい。ここで社交ダンスをしたことなどを思い出しました」と感想を話していました。

(町文化センター 入澤)



囲炉裏のある昔の農家を再現



「こんなのあったあった」と思いながら見学

■町歴史民俗資料館

開館は予約制です。事前に下記問合せ先まで予約ください。

- 入館料 一般 200円 (団体 150円)
- 高校生 100円 (団体 70円)
- ※中学生以下無料

■問合せ

町文化センター (電話 72-1300)
町教育委員会 (電話 72-2107)